

報 告 書 抄 録

ふりがな	しせき のしまじょうあと							
書名	史跡 能島城跡							
副書名	平成 25 年度 城内通路調査報告書							
巻次								
シリーズ名	今治市埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第 130 集							
編著者名	櫛部 大作							
編集機関	今治市教育委員会							
所在地	〒794-8511 今治市別宮町一丁目 4-1 電話 0898-32-5200(代)							
発行年月日	2015 年 3 月 31 日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡 番号					
のしまじょうあと 能島城跡	えひめけんいまばりし 愛媛県今治市 みやくぼらうみやくぼ 宮窪町宮窪 6571、6572、 6573、6574、 6575番地	202		34° 10' 58"	133° 04' 51"	20131001 ～ 20140328	61 m ²	保存目的 調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
のしまじょうあと 能島城跡	城館跡	中世	掘立柱建物跡、方形 土坑、溝状遺構、柱 穴		土師質土器、瓦質土器、 土製品、国産陶磁器、 輸入陶磁器、石製品、 鉄製品、銅製品、鉄滓 等			
要約	<p>能島、鯛崎島における城内の通路は、古い段階においても地山である岩盤を削平し、複数回造成を行い拡張を繰り返している状況が確認された。特に上部傾斜面の削平を行い、傾斜変換点に平行する溝状遺構、通路と認められる平坦面の中央へしっかりとした柱穴を掘りこむなど共通する事例が確認されている。したがって持続困難な状況になっても盛土整地を行い、通路としての機能を持続されたと見られる。</p> <p>今回の調査では通路状の段状遺構 5 箇所、通路の可能性のある 3 箇所の合計 8 箇所的成果があった。出土遺物については城内の主な郭と同様な傾向で概ね 15 世紀後半から 16 世紀中頃が中心。通路としては比較的出土量も多く、造成堆積層にも含まれていることから通路の廃絶時期や造成による段階的な使用時期の確認にも有効であった。</p>							